

就業者が希望するライフスタイルに合わせた多様な働き方等取組事例

事業体名：隠岐島後森林組合

区分	就業者の負担軽減に向けて、就業者の意見集約した変形労働時間制を実施
背景、課題	・変形労働時間制を導入し、4ヶ月間を4週8休勤務とし、その他の8ヶ月間を4週6休勤務として、労働力の確保を図っている。
取組内容	・4週8休勤務は体に負担のかかる夏期・冬期の4ヶ月間実施しており、その時期は就業者の意見を個別に聴取し、意見を取り入れ柔軟に決定している。できるだけ話し合いの場を設けて柔軟に対応できるように配慮している。 ・夏場の下刈りや冬場の伐採時期は繁忙期にあたるが、厳暑期・厳寒期を避け、就業者の健康管理を最優先とした4週8休とすることにより、安定した業務量をこなすことができています。 ・労務管理の工夫は、繁忙期のスケジュール管理について、施行地の条件等から優先順位を付けて業務量をこなしている。  (下刈り)
成果	・就業者の意見を述べる場を設けたことによって、仕事に対する意識が向上した。
今後の課題	